

第一个吃螃蟹的

華東師範大学 7月報告書 デザイン4年 杉山歩乃佳



一ヶ月半の一人旅を終えて、帰国したばかりである。本当は友達と旅行したかったが、中国の学生は夏休みも勉強と就活で忙しい。そして長期休みの旅行は家族、恋人と行くのが一般的だそう。ルームメイトがクラスメイトと同じということもあり、毎日ずっと生活を共にしているので、夏休みまで一緒に過ごすとは思わなかった。というところで、一ヶ月半の長旅は一人で行くことにした。簡潔に書くが、いろいろなエピソードがあるので、帰国したら話を聞いてほしい。

【杭州】
高老がおわった友達、ホームステイでお世話になった家族に会ってきた。以前は日本語が話せるお父さんしか話せなかったが、今回は中国語でお母さんとも話せて嬉しかった。

【南京】
南京はかつていろんな戦いが合った歴史的な場所だ。孫文の墓など世界史で習う場所が多い。



【西安】
兵馬俑、人が多すぎて観光どころではない。

華山ではメデイアで有名な長空棧道を歩いた。最終便のロープウェイを逃すかもと言われたが、並ぶことを決めた。結局、最終便を諦めて、並んでいた間に会った家族と一晩を共に過ごした。この家族が助けてくれなかったら夜の山で一人過さなければいけない状況だった。一緒にスリル満点の棧橋を楽しみ、夕日と日の出を見て、詐欺のような価格の最低なホテルに泊まって、最高の思い出ができた。

【内モンゴル】
首都・フフムト市は急速に発展中である。また、民族統一化も急速に進み、新しい看板にはモンゴル語が記載されていなかった。社会主義の宣伝看板が他の都市より圧倒的に多かった。そして、民族が暮らす地域にも行ってきた。現代のモンゴル民族がどのように生活し、生計を立てているのか学んだ。内モンゴルと中国の関係をもっと深く調べてから行けばよかったと後悔している。数年後の内モンゴルは近代化し、変わり果てているだろう。また行きたい。

【北京】
万里の長城。破壊された状態の



司馬台長城が歴史を感じられて良い。そして何よりも人が少ない！

【青島】
綺麗な海と青島ビール！華師大の友達と海鮮を食べ、青島ビール祭りへ行った。

【上海】
ルームメイトと一緒に香港に行くつもりだったので、上海に戻ってきた。が、まさかのルームメイトのビザ期限が足らず、香港も一人旅になった。最高のルームメイトだったので上海でお別れすることになり寂しかった。

【香港】
英語が使える！と思いきや広東語が日常言語で、英語がわからない人も多かった。広東語は普通語とは別言語と言っているほど違うので何も聞き取れない。香港の古いアパート群が独特で面白い。

【マカオ】
華師大の友達が街を案内してくれ、夜は一緒にカジノへ行った。アメリカのカジノより、賭け金の最小額が少ないので安心である。マカオはとても小さく、一日あれば回りきれぬ。

ビザ問題で入境できず、再びマカオへ戻った。私が明らかに疲れた顔をしていたからか、ホストのおばさんが心配して街に連れ出してくれた。広東語と普通語の違い

から、会話はほぼできなかったが、理解しようとしてくれたので、意思疎通ができた(笑)

【香港】
イレギュラーな形で広州へ行くために香港へ再び戻った。そこで友達と五年ぶりの奇跡の再会を果たした。中国に入境できていたら不可能だった再会だ。不幸がもたらした幸いである。

【広州】
たった一日しか滞在できなかったのですが、とにかく観光地を巡った。

【フィリピン・マニラ】
人生初フィリピン。治安は悪いが、人は最高。みんな優しい。地元の人と一人では危険そうなるスラム街にも行った。予想以上に多いストリートチルドレン、日本人が好きだと言っただけに近づいてくる男、電車では必ず席を譲る国民性、写真を撮ってほしいとポーズを決める子供たち、現地に行っただけで知ったことばかりである。今回は現地の人と行動したから安全だったが、気楽に旅行できる場所ではないと感じた。

【フィリピン・セブ】
とんでもなく海が綺麗。ジンベイザメ・ウミガメと接近したり、イワシトルネードに突っ込んだりと信じられない体験ができた。ツアーが安いのでおすすめです。



外国人は中国旅行が簡単ではない

中国には外国人受け入れ不可のホテルが多い。検索時に「外賓可以」を選択しないとイケない。外国人が泊まれるホテルは他に比べて少し高い...そして、外国人立入禁止区域がある。新疆・青海などの少数民族が暮らす地域、素晴らしい自然がある地域に行きたかったのだが、一部地域が立ち入り禁止で、車で通ることすら不可能。チベットに関しては自分で自治区に入ることすらできず、専門のツアーのみが許されている。チベット入域許可証発行までに時間がかかるので、直前に申し込むことはできない。少数民族に興味があり、何の制限もなかった内モンゴルへ行くことにした。

ビザ問題

広州からフィリピン行きの飛行機に乗るため、マカオから入境するつもりが、ビザがなく入境不可。なぜこんなことが起きたのか...まず、香港・マカオは外国扱いなので学生ビザを失った。このことは知っていたので、観光客として中国に戻ろうとした。コロナ前は観光ビザが不要だったため、今回もビザなしで観光できようと思込んでいた。さらに、ビザの公式HPが更新されておらず、「日本人は観光ビザ不要。」のままであった。どうしようもないので香港から広州へ飛行機で移動し、トランジットビザ免除を利用。直前に購入した航空券だったので高価だった。調べ不足である...馬鹿なミスをした...

1年の留学を終えて

アメリカ留学も中国留学もとにかく楽しんだし、やりきった充実感でいっぱい。私は3年後期から休学して留学をしたが、休学の1年間が充実していたので卒業が1年遅れることに対して気にならなくなった。そして、一人であちこち行く間に自分の嫌なところにも気づけた。物はよくなって、なんとかなるだろう精神だけではダメだと学んだ。もちろん自分のいいところにも気づけた。留学目的の語学力も伸びたと感じている。資格のための語学ではないが、コミュニケーションの語学は確実に伸びた。アメリカ・中国で多くの友達ができたので、これからも電話などをして語学を忘れないようにしたい。

